

平成21年 2月

応募者名:熊本県 八代市 建設部 街路公園課

事業の名称:八代都市計画道路

8・7・1 八代緑の回廊線街路整備事業

実施都市名:熊本県 八代市

事業目的

本市は、日本三急流の一つである球磨川の河口域に位置し、「住みよい田園工業都市」、「かおり高い文教都市」として発展してきた。

東西約14kmの平均勾配が千分の一と非常に緩やかで、冬でも積雪の少ない温暖な気候であり、通勤や通学に自転車を利用する人が約3割にも達し、交通手段としての占める割合が全国的にも高い都市である。

自転車歩行者専用道路として整備することにより、交通環境と地球環境に貢献し、"安全""安らぎ""うるおい""健康"を提供できる空間整備に取り組んだ。

事業概要

事 業 名:八代都市計画道路

八代緑の回廊線街路整備事業

路 線 名:八代緑の回廊線

事業箇所:八代市 萩原町二丁目~松崎町

事業延長:全延長6, 850m幅 員:5.0m~10.0m

総事業費:33億2千万円

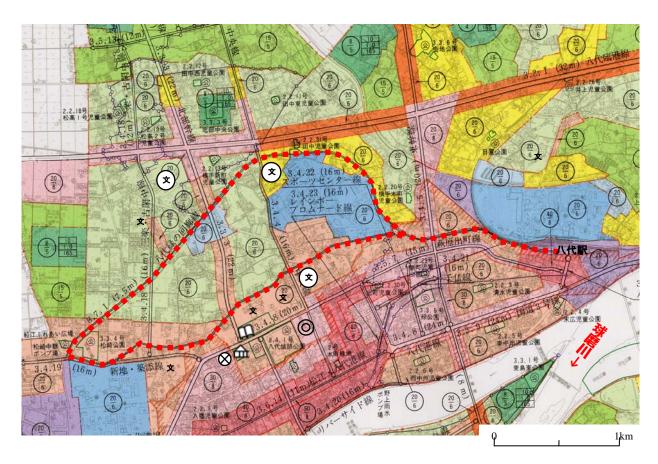
事業期間:平成6年~平成19年

本事業は、鹿児島本線八代駅を起点に、工場引き込み線や農業用水路の跡地を利用した「自転車歩行車専用道路」で、「安全」「快適」「環境」をテーマに整備を行ったものである。

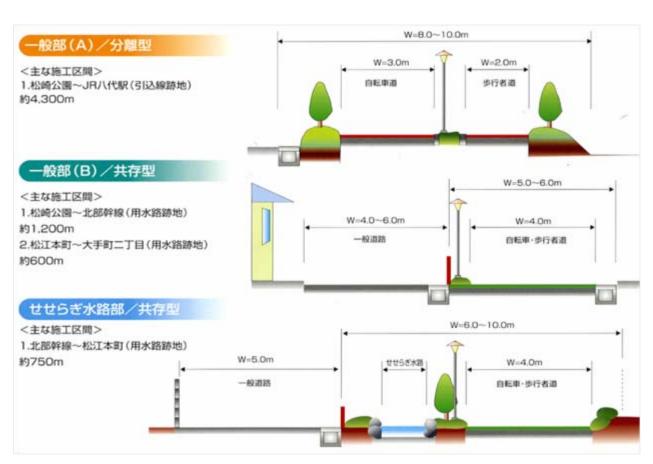
この沿線には、各種の学校や公共施設等が隣接し、通勤や通学、健康のためのウオーキングやジョギング等の利用が盛んで、自転車や歩行者の交通環境の整備のみならず、各所にベンチや東屋等の休憩施設を配置し、春には桜やフジ、夏には日陰を提供し、秋にはコスモスやキンモクセイ、冬には椿やサザンカ等の花が咲いており、四季を肌で感じられる回廊を形成している。

また、一級河川球磨川から取水した水深の浅い「せせらぎ水路」を配置し、"うるおい"と"安らぎ"のある空間の提供により憩いの場となっている。

事業位置図



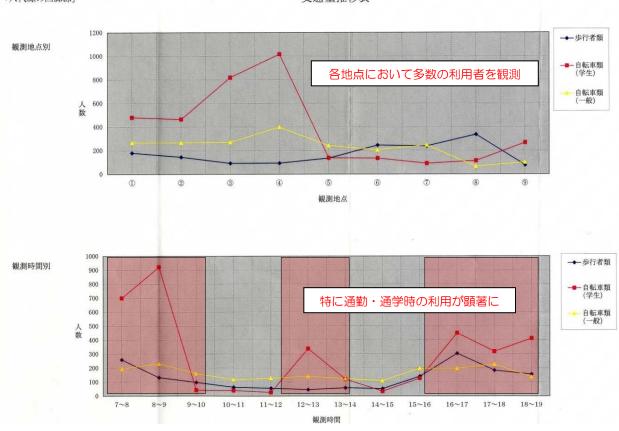
全体図(平面図・側面図・横断図)



八代緑の回廊線の整備効果アピール資料

「八代緑の回廊線」

交通量推移表



〇事業概要

事 業 名:八代都市計画道路

八代緑の回廊線街路整備事業

路 線 名:八代緑の回廊線

事業箇所:八代市 萩原町二丁目~松崎町

事業延長:6, 450m

幅 員:5.0m~10.0m 総事業費:33億2千万円

事業期間:平成6年~平成19年

○交通量調査結果(7:00~19:00)

供用後 歩行者:1,536人

自転車:5,480台

・交通量の推移

朝夕の通勤・通学におよそ4割の 利用者が集中している。

一般道を自転車・歩行者と通行の 分離により車両等のスムーズな通過

が可能となった。

「整備効果」

- ・通勤・通学時の利用が多く、一般道を通過しないことにより 安全に通行できる。
- 朝夕のウオーキングやジョギングの利用により健康増進に 貢献している。
- ・火災時の防火帯の役割を担っている。
- ・八代駅にアクセスする幅員の狭い既設道路の歩行者や自転車の通過交通量が少なくなり、交通事故等の減少につながった。
- ・起点の八代駅に隣接した駐輪場の利用が増えた。

「その他の事業効果」

- ・小中学校の通学路に指定されている。
- ・ 沿線住民による美化活動を促進している。
- ・九州国際スリーデーマーチの指定コースである。



事業前写真

事業前写真1

事業前写真2



平成2年頃撮影



平成10年頃撮影

事業前写真3

事業前写真4



平成10年頃撮影



平成8年頃撮影

事業前写真5



平成6年頃撮影

事業後写真

平成21年2月撮影









